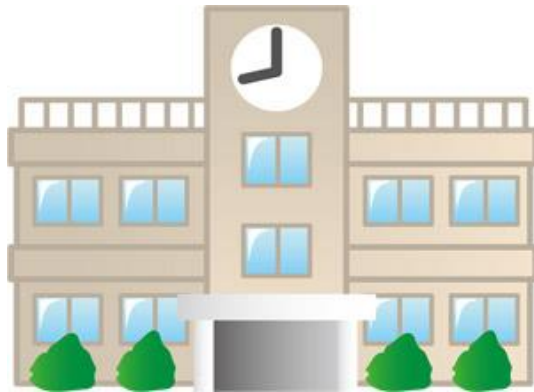


水俣市教育委員会
点検評価報告書
(令和4年度実績)



令和5年9月

水俣市教育委員会

目次

はじめに	1
点検評価の流れ	2
教育委員会の活動状況について	3

令和4年度 教育委員会重要政策事業の点検評価の結果について

1 学力向上対策事業（確かな学び・豊かな心・健やかな体を育む学校づくり）	4
2 いじめ、虐待、不登校児童生徒対策事業（誰もが楽しく学べる教育環境づくり）	6
3 安全・安心な学校施設の整備・充実	8
4 給食センターにおける食育・地産地消推進事業	10
5 青少年健全育成事業	12
6 公民館自主事業	14
7 文化会館自主文化事業	16
8 図書館創作活動事業	18

はじめに

水俣市教育委員会では、教育行政を効果的に推進していくこと、また、市民への説明責任を果たすことを目的として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行いました。

点検・評価は、次に掲げるものを対象に、教育委員会事務局で点検・評価（自己評価）を行い、その後、外部の有識者の皆様に専門的見地からの御意見をいただいております（外部評価）。

- (1) 第6次水俣市総合計画に掲載された事業
- (2) 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

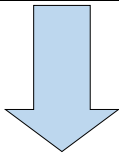
○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検評価の流れ

年度	実施項目	実施者	実施時期	実施内容
令和 4 年度	事業選定	担当部署	4月～5月	点検評価の対象事業を選定
	 事業実施			
	自己評価	担当部署	3月下旬	選定事業について、実施状況評価表を作成
令和 5 年度	外部評価	点検評価員	6月	実施状況評価表について点検評価委員の意見を聴取
	最終評価	教育委員	7月～8月	点検評価委員の意見を付した実施状況評価表について、教育委員より意見を聴取（総評）
	とりまとめ	事務局	8月	点検評価の結果をとりまとめ、報告書を作成
	提出・公表	教育長	9月	報告書を議会に提出し、HPで公表

※点検評価委員

- ・教育に関し学識経験を有する者
 - ・任期は3年（令和4年8月～令和7年7月）
- （委員）坂本 彰・山本 有三

教育委員会の活動状況について

1 教育委員会の会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回の定例会と、必要に応じて臨時会を開催しています。
令和4年度の開催状況は、以下のとおりです。

- (1) 定例会 12回
- (2) 臨時会 2回

2 審議等の状況

(1) 審議事項 34件

審議内容	件数
規則、訓令等の制定または改廃に関する事	7
職員及び附属機関の委員の任免、その他の人事に関する事	2
議会の議決を経るべき議案についての意見の申出に関する事	0
その他	25

※その他・・・教科書採択、奨学生決定、後援の承認など

(2) 協議事項 29件

学校教育努力目標、会議の開催日時など

(3) 報告事項 43件

市議会に関する報告、学校教育活動に関する月例報告、催し物の結果報告など

3 水俣市教育委員会

令和5年3月31日現在

職名	氏名
教 育 長	小 島 泰 治
委員（教育長職務代理者）	平 尾 雅 述
委 員	堀 浄 信
委 員	山 田 誠 次
委 員	本 田 恵 津 子

令和4年度 教育委員会重要政策事業実施状況評価表 (教育課 学校教育室)

政策事業名	1 学力向上対策事業 (確かな学び・豊かな心・健やかな体を育む学校づくり)
種別	① 水俣市総合計画に掲載された事業 2 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	水俣市学校教育3つの努力目標を「学びの心をもつ子ども、育ての心をもつ教師、はずむ心のある学校」と設定し、重点項目の1つに「確かな学力の育成」を掲げており、その実現に向けて、児童生徒の学力向上を図るため、教師の資質向上や授業力向上を目指し、多角的に目的・目標に向けて事業を推進する。
事業の目的・目標	「未来の担い手育成 (学力向上) 宣言」の具体的実践内容を検討・提案する。 全国学力・学習状況調査及び熊本県学力・学習状況調査の結果等を分析し、児童生徒に県平均、全国平均を上回る学力を定着させるための取組を共通実践する提案をする。 GIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末を活用した教師の指導力向上を図るために、授業改善に係る指導方法の工夫等について検討・提案する。

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		1,236	817	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	1,236	817	

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績 (回数等)
<p>学校教育改革プロジェクト会議における授業力向上委員会 (年6回) を実施し、授業改善に係る指導方法の工夫等を提案する。</p> <p>※令和4年度は、1人1台端末の活用による指導力向上及び、児童生徒の学力向上に向けた取組の共通実践を図る。</p>	<p>芦北・水俣学力向上対策協議会で示された具体的実践事項のうち、市内全小中学校で必ず取り組む事項を指定し、各学校で年間を通した取組を行った。</p> <p>学校教育改革プロジェクト会議における授業力向上委員会を6回開催した。</p> <p>熊本県学力・学習状況調査の算数の問題分析を行い、課題解決に直結する教材を作成し、各学校に配布した。</p>
<p>教師の資質指導力を向上させるための水俣市教育セミナー (年2回)、学力向上の成果を公開するみなまた教育フォーラム (年1回) を開催する。</p>	<p>1人1台端末を活用し、授業力向上につなげるため、授業支援ソフト「ロイロノート」の活用に関する研修を、水俣市教育セミナーとして、年3回実施した。</p> <p>芦北・水俣学力向上対策協議会で示された具体的実践事項について、校内研修等を通じて研究を行い、各学校においてどのように授業力向上につなげるかの方策を策定し、みなまた教育フォーラムにおいて、実践発表を行った。</p>
<p>学力向上研究推進校 (1校)、学校図書館活用教育研究推進校 (1校) 及び学力向上推進事業実践校 (10校) を指定し、研究推進と研究成果の発信を行う。</p>	<p>令和4年度から、学力向上研究推進校として水東小学校、学校図書館活用教育研究推進校として湯出小学校、学力向上推進事業実践校として推進校以外の10校を指定。校内研修等で研究を行った (各学校の取組内容については、「みなまたの教育」に掲載。各学校等にはCDを配布)。</p>

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由	
<p>熊本県学力・学習状況調査において、小学校及び中学校の全教科数14に対して、県平均を上回ったものは、5教科であり、令和3年度と同様であった。学年ごとの経年変化による比較では、教科間や学年間に定着率の差が見られた。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査結果については、全ての項目において全国平均以下となり、取組を成果に結びつけることができなかった。</p> <p>各研究指定校の取組により、教師の授業力向上、児童生徒の学力向上が図られた。成果については、「みなまたの教育」に掲載し、各学校等にCDを配布することができた。</p> <p>1人1台端末の活用については、教育セミナー等を通して、効果的な活用を提案することができた。</p> <p>熊本県学力・学習状況調査の算数の問題分析を行い、課題解決に直結する教材を作成し、各学校に配布した。</p>	
(自己評価)	
<p>A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの</p> <p>B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの</p> <p>C 早急の見直しが必要なもの</p> <p>D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>自己評価</p> <h1 style="font-size: 2em;">B</h1> </div>

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題					
<p>熊本県学力・学習状況調査結果における教科間差、学年差を解消するための更なる方策の検討が必要である。</p> <p>今後も引き続き、授業支援・学習支援ソフト等ICTの更なる活用により、教師の授業力の向上、児童生徒の学力の向上及び業務の効率化に向けた取組を行う必要がある。</p>					
(2) 今後の方向性	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>学校教育改革プロジェクト会議において作成した教材について、年間を通じた計画的な活用を行うとともに、国語科の教材を作成し、各学校に配布する。</p> <p>学力充実のための時間（週1回・15分程度）を設け、1人1台端末を活用し、学習支援ソフト「eライブラリー」の（算数、数学を中心に）に市内全小中学校で取り組む。</p>					

6 【点検評価委員の意見】（外部評価）

点検評価委員	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>学力を高めるためには、市全体で学力について考え、目標を明確にして学校が意識して取り組んでいくことが大事である。授業力向上、教材の開発・利用、ドリルの学習などを続けてほしい。また、生徒指導、人権教育、健康教育には細やかな心配りをしながら取り組んでほしい。</p> <p>タブレット利用は、教師間での差があるように思える。有効に活用してほしい。</p> <p>特別支援教育については、大人の理解を進め、子供達のためにどうすればよいかしっかりと考えて取り組んでいくべきだと思う。引き続き、特別支援教育支援員の適切な研修も行ってほしい。</p>					

7 【総評】（教育委員会の最終評価）

<p>学校教育改革プロジェクト会議で示された内容を各学校の課題に合わせて確実に実践し、評価することが大切である。そのことが学力向上につながると思う。</p> <p>教育機器の活用により、児童生徒の興味関心を高める研修を計画的に行うとともに、ロイロノートの活用も図ってほしい。</p> <p>概要に掲げてある「教師の資質向上や授業力向上」という肝心の部分がかきりしめないように思える。時間はかかるかもしれないが、自由な発想で授業に取り組めるような体制と、子供達を理解しようとする教師の姿勢作りから始めるなど、根本的な見直しが必要ではないかと考える。</p> <p>また、取り残されている子供がいないかを見抜く授業力も教師間で共有してほしい。</p>

政策事業名	2 いじめ、虐待、不登校児童生徒対策事業 (誰もが楽しく学べる教育環境づくり)
種別	① 水俣市総合計画に掲載された事業 2 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	いじめ、虐待等の問題を抱える児童生徒や不登校児童生徒の自立を支援することは、本市の重要な課題の1つである。このため、平成19年度から、問題の早期発見・解決を図るために水俣市自立支援事業連絡協議会を設置し、併せて不登校対策・いじめ防止・虐待防止の3つの部会を置き、ネットワークの構築、情報交換、研究協議、成果の普及等に取り組んでいる。 本連絡協議会3部会の機能の活性化とネットワークの更なる強化を図り、各学校の取組と家庭や地域、関係機関と連携して課題の解決に努めていく。
事業の目的・目標	いじめ、虐待等の問題を抱える児童生徒や不登校児童生徒の自立を支援するため、関係機関との連携を強化しながら課題解決に努める。そのために、水俣市自立支援事業連絡協議会の設置開催をはじめ、子ども自立支援室やスクールソーシャルワーカーによるきめ細やかな支援等を継続し、関係機関のネットワークの構築を図りながら各取組を進める。

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		2,562	2,568	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	2,562	2,568	

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績 (回数等)
水俣市自立支援事業連絡協議会を実施し、関係機関のネットワークの強化、情報交換、研究協議、成果の普及等により課題解決に努める。	6月の全体会、10月の3部会(不登校対策部会、いじめ対策部会、虐待防止部会)2月の第2回全体会と、予定していた協議会すべて計画通りに実施することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの実施となり、貴重な情報交換の場となった。
自立支援事業連絡協議会の3つの部会(不登校対策部会、いじめ対策部会、虐待防止部会)を、年間を通じて実施する(各ブロック及び全体での情報交換・協議、ネットワーク構築、情報発信等)。	【不登校対策部会】 学校側ではなかなか理解できない保護者の立場からの講話を実施し、学校側との意識の違いを認識した。 【いじめ防止部会】 部員校の学校いじめ防止基本方針を比較検討し、見直しの視点について協議した。 【虐待防止部会】 特定非営利活動法人優里の会に講話を依頼し、県南地域の虐待の実態について認識を深め、学校ができることについて協議した。
子ども自立支援室やスクールソーシャルワーカー及び関係機関と連携し、年間を通じて、いじめ・不登校・虐待対策等の支援を行う。	子ども自立支援室やスクールソーシャルワーカーの活用について校長会議等で周知し、早期対応につなげられるよう支援した。特に、教頭等研修会ではスクールソーシャルワーカーに現状と課題についての話を、また、教育フォーラムでは福祉の視点から学校の対応の仕方を考える講話を実施し、学校の認識を深めることができた。

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた、水保市自立支援事業連絡協議会を3年ぶりに開催し、全体会2回、各分会1回、計3回実施することができた。不登校対策、いじめ防止、虐待防止に関して、その現状と課題を共通認識し、対策について協議を深めることができた。

子ども自立支援室の活用について、積極的に周知し、不登校・不登校傾向の児童生徒を継続的に支援した。小学1年から中学3年までの利用者13名中、学校へは登校できないが1週間の半分以上は自立支援室に通う児童生徒が7名いた。学校への復帰はかなわなかったが、利用者にとっての学習の場となり、その中の中学3年生は全員高校を受験し合格した。

心のアンケートの結果をみると、「いじめられたことがある」と答えた児童生徒数の経年変化は見られなかったが、「いじめを見たことがある」と答えた数は前年度の162から212に50人増加し、学校におけるいじめに関する教育により、児童生徒の行為に対する「それはいじめではないか」という見方が変容してきている。

(自己評価)

- A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの
- B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの
- C 早急の見直しが必要なもの
- D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの

自己評価

B

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題

令和3年度より更に不登校・不登校傾向児童生徒数は増加している。原因は様々であるが、新型コロナウイルス感染症の影響は大きいと思われる。今後も課題を抱える児童生徒の心に寄り添った対応ができるようにするとともに、学校や関係機関等と連携し、児童生徒の社会的自立に向けた方策が必要である。

いじめに関しては、すべての学校において、未然防止の取組やアンケート等による早期発見・早期対応に努めているところであり、発見したときはいじめ防止基本方針に基づき対応しているが、それ以外にも潜伏している可能性もある。「どの子供にも、どの学校においても起こりうる」という意識で、早期発見・早期対応に努めるとともに、児童生徒や保護者の心に寄り添った対応を心がけていく必要がある。

(2) 今後の方向性

維持

改善

見直し

休止

終了

引き続き、子ども自立支援室に指導員を配置して不登校・不登校傾向の児童生徒の支援を図る。スクールソーシャルワーカーについては、申請案件だけでなく、各学校の不登校対策会議等へも派遣し情報共有や指導助言等を積極的に行うとともに、計画的に学校を訪問して児童生徒の様子を見ながら早期発見・早期対応につなげていく。

誰もが楽しく学べる教育環境づくりのためには、特別支援教育の視点が重要である。そのような視点からの児童生徒への対応に関する研修を行い、日々児童生徒に接している教師の指導力・対応力を高めることで、いじめが起こった時の適切な対応や、登校を渋る児童生徒への対応、不登校の児童生徒の社会的自立に向けた丁寧な対応につなげていけるようにする。

6 【点検評価委員の意見】 (外部評価)

点検評価委員

維持

改善

見直し

休止

終了

大人はアンテナを高くして、子供の姿を見て、早期発見・早期対応をするべきである。学校だけでは対応できないことも多いため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをはじめとした色々な社会資源を活用し、幅広い対応をしていくべきだと思う。

不登校は原因が多岐にわたっている。保護者が学校生活を前向きにとらえていなければ子供の登校は促せない。環境を整えるためには教育委員会や福祉の支援は欠かせない。子供が登校できるようになった場合には、根本的な解決になっているかの検証が大切だと思う。

7 【総評】 (教育委員会の最終評価)

対症療法的な対策に偏っていて、根本解決に向かっていない印象を受ける。大人の側が「学校教育の意義、必要性、強み」について確固とした考えを持ち、その上に立った意志をもって子供たちと向き合う必要がある。

今後ますます本事業の大切さが増してくると思われる。今後の方策として、年度の枠を越えた会の在り方やオンライン開催について検討し、それぞれの会の効率や質の向上を図る取組が必要と考える。

それぞれの会の活動内容について、学校や地域へ発信する場を設けてほしい。

また、学校に行けない子供達が増加しているため、子ども自立支援室も更に充実してほしい。

令和4年度 教育委員会重要政策事業実施状況評価表 (教育課 学校教育室)

政策事業名	3 安全・安心な学校施設の整備・充実
種別	① 水俣市総合計画に掲載された事業 2 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	<p>学校施設は、多くの児童生徒等が1日の大半を過ごす場であり、また非常災害時には地域住民を受け入れ、避難生活の拠り所として重要な役割を果たす施設であるため、児童生徒をはじめ、そこに集まる人たちが安心・安全かつ快適に過ごすことができるように学校施設の環境改善（構造体・非構造部材の耐震化、トイレ改修等）に取り組む。</p>
事業の目的・目標	<p>耐震化については、平成21年度から小中学校施設の耐震化を進めており、平成24年度までに構造体の耐震化を完了した。しかし、校舎の内外壁等の非構造部材については、耐震対策が万全ではないため、長寿命化を見据え、安全対策を進めていく。</p> <p>トイレ改修については、怪我や障がいを抱えた児童生徒等が利用しやすいよう改修を進めていく。</p> <p>また、空調設備設置については、近年の外気温の上昇に伴い、教室内の気温上昇が著しいため、児童生徒の体調管理の面及び学習環境整備の面から令和元年度までに全校に設置が完了した。今後は、必要に応じメンテナンスを行う。</p> <p>その他、令和4年度は、水俣第二中学校体育館の屋根改修工事に係る実施設計業務を行う。</p>

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		30,146	11,792	
財源内訳	国庫支出金	10,711	5,016	
	県支出金			
	地方債	19,300	6,700	
	その他	28		
	一般財源	107	76	

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績（回数等）
【水俣第二中学校】 体育館屋根改修	<p>【事業期間】 令和4年6月22日～令和5年1月31日</p> <p>【事業実績】 設計業務委託料 6,776,000円</p> <p>※工事は令和5年度以降に実施予定</p>
【旧湯出中学校】 トイレ改修	<p>【事業期間】 令和4年9月7日～令和4年10月31日</p> <p>【事業実績】 工事請負費 2,409,000円</p> <p>※7月補正予算で追加</p>
【旧湯出中学校】 空調設備設置	<p>【事業期間】 令和4年9月7日～令和4年10月31日</p> <p>【事業実績】 工事請負費 2,607,000円</p> <p>※7月補正予算で追加</p>

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由

【耐震化】

改修計画に基づき、本年度は事業なし（実績値8/11）。

【トイレ改修】

改修計画に基づき、本年度は事業なし（実績値7/11）。

【空調設備設置】

既に全小中学校に空調設備を設置しており、必要に応じメンテナンスを行った（実績値11/11、達成済）。

【その他事業】

水俣第二中学校体育館の雨漏り解消に向け、工事に係る実施設計業務を実施した。また、閉校した旧湯出中学校の和式トイレを洋式トイレに改修し、空調設備を設置することで、避難所としての施設環境の向上を図ることができた。

(自己評価)

- A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの
- B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの
- C 早急の見直しが必要なもの
- D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの

自己評価

A

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題

市の財政状況が厳しいため、緊急性の高いものから計画的に実施していくことが課題である。

(2) 今後の方向性

維持

改善

見直し

休止

終了

可能な限り国の交付金等を活用しながら、事前に財政当局と協議し、事業が着実に進められるよう取り組んでいく。

6 【点検評価委員の意見】 (外部評価)

点検評価委員

維持

改善

見直し

休止

終了

耐震化、トイレ改修、空調設備設置の改善により少しずつ子供達が安心して学ぶ環境づくりがなされている。今後は、老朽化により危険性が出てきているところ、閉校している学校の活用に向けて取り組んでほしい。第二中学校の体育館屋根は長年の懸案事項であり、多くの経費も投入されてきた。子供達が安心して学べる体育館及び地域の避難所としてもぜひ解決してほしい。不審者対応についても検討してほしい。

7 【総評】 (教育委員会の最終評価)

限られた予算の中で長期的な計画に基づいて施設の整備等が行われている。SDGsやバリアフリーの視点で、建物の老朽化への対応や設備のメンテナンスを行うなど、今後も必要などころから計画的に進めてほしい。

政策事業名	4 給食センターにおける食育・地産地消推進事業	
種別	1 水俣市総合計画に掲載された事業	② 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	<p>食育の推進として、食に関する指導やアレルギー対応食を実施し、また、食育の拠点となるようセンターの視察研修、試食会、センターまつり等を実施する。</p> <p>地場産食材を使用した給食「水俣・芦北メニュー」、熊本郷土料理を取り入れた「ふるさとくまさんデー」等を実施し、生産者と連携した地産地消を推進する。</p>
事業の目的・目標	<p>学校・地域・家庭と連携して、学校給食を生きた教材として食育を推進する。</p> <p>また、生産者の顔が見える地場産食材を給食に使用し、旬の食材を使った「水俣・芦北メニュー」を実施するなど、地産地消を推進する。</p>

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		86,674	92,674	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	73	110	
	一般財源	86,601	92,564	

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績（回数等）
食に関する指導を年間通じて実施	<p>栄養教諭による食に関する指導を、26回行った（うち、学校への訪問指導は17回）。</p> <p>給食センター見学については、令和2年度から受け入れていなかったが、令和4年度は栄養教諭の食育授業の一環として、1クラス（5名）を受け入れた。</p> <p>また、学年行事として行われる学校でのふれあい給食も、令和3年度以降、行われていなかったが、令和4年度は2クラスで実施された。</p> <p>給食センターでの試食会については、新型コロナウイルス感染症対策のため、取り組むことができなかった。</p>
給食センターまつりを年1回開催	給食センター祭りについては、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。
保護者からの申請に基づく、アレルギー対応食の実施	食物アレルギー疾患を持つ児童生徒に対して学校給食を提供するため、保護者及び所属校と連携を取りながら、24人の児童生徒にアレルギー対応食を提供した。
地元食材の活用による地産地消の推進	<p>納入実績のある地元生産者から年間生産計画を徴したうえで、15者から20品目の食材を納品してもらい、給食で使用した。</p> <p>地場産材を使用した「水俣・芦北メニュー」、県内郷土料理を紹介する「ふるさとくまさんデー」などを実施した。また、使用した地元食材を、給食だよりで紹介した。</p>

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由	
<p>児童生徒への食に関する指導について、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、主に資料提供により行っていたが、令和4年度は、学校への訪問指導を17回行うことができた。</p> <p>給食センター見学や学校でのふれあい給食も、感染が縮小していた時期に、小規模ではあったが、実施することができた。</p> <p>地産地消の推進については、旬の食材について、可能な限り地元食材の利用を図った。なお、国の健康教育実態調査において各自治体の県産食材の活用割合を調査しているが、令和4年度の本市の活用割合は59.2%であり、令和3年全国平均56.0%、令和4年県平均58.4%を上回っている。今後も、引き続き積極的に地場産食材の活用を行うこととしたい。</p>	
(自己評価)	
<p>A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの</p> <p>B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの</p> <p>C 早急の見直しが必要なもの</p> <p>D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>自己評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> </div>

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題					
<p>児童生徒への食に関する指導は、学校の要請に応じて行うため、回数等の目標設定が難しい。</p> <p>安全・安心な食材の調達・地産地消の推進に関しては、価格面の課題がある</p>					
(2) 今後の方向性	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>今後も、各学校との連絡調整を行い、学校給食を活用した食育指導に取り組む。</p> <p>地産地消に関して、農水部門との連携を行いながら、今後も推進していく。</p>					

6 【点検評価委員の意見】 (外部評価)

点検評価委員	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>アレルギー食対応や、異物混入への注意・対応等色々な苦労があると思うが、子供達の成長のために今後も頑張ってほしい。</p> <p>栄養教諭による食に関する指導は、もっと学校へ行って子供達へ直接話してほしい。</p> <p>安全・安心が第一のため、給食センターでの事故がないようにしてほしい。また、設備もメンテナンスを行い、長く使ってほしい。</p>					

7 【総評】 (教育委員会の最終評価)

<p>コロナ禍で給食センターまつり等の事業が縮小されたが、できる範囲で実施されている。また、不断の努力により安全・安心なおいしい給食の提供を実現できていると思う。</p> <p>今後も栄養教諭による食に関する指導や給食センターの見学等には積極的に取り組んでほしい。</p> <p>また、食育については学校と連携し、児童生徒だけでなく教師や保護者への意識啓発も行ってほしい。</p> <p>給食に地元食材を積極的に活用していることを学校内外にもっとアピールしてもよいのではないか。</p>

令和4年度 教育委員会重要政策事業実施状況評価表 (教育課 生涯学習室)

政策事業名	5 青少年健全育成事業
種別	① 水俣市総合計画に掲載された事業 2 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	次世代を担う水俣の青少年の健全な育成を図ることを目的に、水俣市青少年育成市民会議を通じて、各小中学校校区育成会の実施する青少年育成活動の支援、市民会議主催での学習事業、あいさつ運動等を実施する。
事業の目的・目標	子供達の社会性や自己肯定感を高めるため、家庭・学校・地域の取組、各々の教育機能の充実と連携を促進し、市全体で多くの人たちの見守りにより、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		244	269	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	244	269	

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績 (回数等)
校区育成会に対する助成	市内小・中学校の校区育成会に対して、活動助成金を交付した。 【対象校】 11校区 (小学校7校、中学校4校) 【助成額】 15,000円 (上限) 【内 容】 スキューバダイビング、卒業証書作成、どんどこ等
みなまた未来ラボの実施	市内中学生向けの体験事業を実施した (新型コロナウイルス感染症対策のため、当初16時までだった予定を短縮して実施)。 【日 時】 令和4年8月24日 (水) 9:00~12:40 【場 所】 水俣市庁舎3階 会議室A、B 【参加者】 9人 (市内各中学校から2~3人) 【内 容】 防災をテーマに、市危機管理監の講話を受講し、自分の考えをまとめ、市長、教育長らの前で1人1人発表した。
小学生向け体験学習の実施	市内小学生 (保護者含む) 向けの野外体験活動を実施した。 【事業名】 おそとでぐるぐるパンづくり 【日 時】 令和4年12月10日 (土) 8:50~12:00 【場 所】 エコパーク水俣 ナーサリー事務所 【参加者】 21人 (8グループ) 【内 容】 パンづくり、火おこし体験、味覚を使ったミニゲーム
あいさつ運動の実施	毎月11日を「いい朝いいあいさつの日」とし、市内小中学校で朝のあいさつ運動を行っている。令和4度、事務局は、11日に近い木曜日に、第一小学校校門にて運動を実施した。 【事業名】 いい朝いいあいさつ運動 【日 時】 毎月11日 各校の登校時間 (8月は夏休みのため実施せず) 【場 所】 各校

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由			
<p>みなまた未来ラボは、新型コロナウイルス感染症対策のため、当初予定していた日程では開催できなかった。令和5年度は、感染症に対する制限も緩和もしくは解除されていることが予想されるため、体験活動としての効果がより高まるような内容を検討する。</p> <p>小学生向け体験学習は、令和元年度からパン作りを行っている。応募が多く、抽選で参加者を決定している状況であるため、希望者が多いうちは引き続きパン作り体験を継続したい（募集人数：30人（8グループ）程度、応募者数：54人（20グループ）、実際の参加者数：21人（8グループ））。</p> <p>いい朝いいあいさつ運動では、先生への聞き取りからあいさつを課題としている第一小学校に事務局も参加した。年度後半になるにつれ、立ち止まって大きな声であいさつする児童が多くなった。</p>			
(自己評価)			
<p>A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの</p> <p>B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの</p> <p>C 早急の見直しが必要なもの</p> <p>D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの</p>	<table border="1"> <tr> <td>自己評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	自己評価	B
自己評価			
B			

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題					
<p>みなまた未来ラボは、夏休み期間中に市内各中学校から参加者を2名程度選出してもらう必要がある。生涯学習室において同時期にもう1つ、市内中学生を対象とする事業を実施しており、小規模校への負担が大きく、また、担当者にとって同様である。</p>					
(2) 今後の方向性	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>みなまた未来ラボは、より内容を充実したものにするため、同時期に行っているもう1つの事業と統合させる等、互いの事業効果を高めるような実施方法を考える。</p> <p>パン作りなどの好評な事業は継続して実施したい。</p>					

6 【点検評価委員の意見】 (外部評価)

点検評価委員	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>投入経費が少ないと思う。子供達が色々な経験をすることで笑顔になる事業だと思うのでもっと周知するべき。</p> <p>小学生向け体験学習は、年1回ではなく、年数回実施できるといいと思う。</p> <p>小中学生のあいさつの実態を知るため、あいさつ運動は、他の学校へも行って現状を見てはどうか。</p>					

7 【総評】 (教育委員会の最終評価)

<p>児童生徒の体験不足、あるいは体験を通したコミュニケーション能力を育成するうえで大変貴重な事業であるため、今後も多彩な事業展開を望む。</p> <p>未来ラボは、今後の実施内容の検討に期待したい。ぐるぐるパンづくり等の小学生対象の体験学習は参加者枠をもっと増やすことはできないか。</p> <p>生涯学習事業と考えれば、この事業の対象は子供達と大人の双方が該当すると思う。現在は、大人が子供に何らかの機会を提供しているが、大人と子供が同時に体験し、学び、育つ機会と捉えることはできないだろうか。</p>

令和4年度 教育委員会重要政策事業実施状況評価表（教育課 生涯学習室公民館）

政策事業名	6 公民館自主事業
種別	① 水俣市総合計画に掲載された事業 2 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	市民に多種多様な学習の機会を提供し、生涯学習活動の活性化を図るため、市公民館において、各種公民館自主事業を開催する。
事業の目的・目標	公民館自主事業（市民教室、いきいき教室、子ども教室、生涯学習フェスティバル）を実施し、市民に広く学びの機会を提供しそれぞれに興味のある事に取り組んでいただき、生きがいを持った、豊かな人生を送っていただけるよう支援する。

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		709	1,208	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	249	345	市民教室受講料
	一般財源	460	863	

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績（回数等）
市民教室	【開講教室】12教室 (料理、フラダンス、朗読、生け花、パソコン、はがき絵、クラフト手芸、スポーツ吹矢、フォークダンス絵等) 【期間・実施回数】令和4年6月～令和5年3月（合計18回） 【受講者数】期間中延べ1,596人
いきいき教室	【水俣の宗教①】～神道と自然信仰～ 令和4年9月29日（木）開催 参加者15人 【水俣の宗教②】～仏教とキリスト教～ 令和4年10月29日（土）開催 参加者11人
子ども教室	新型コロナウイルス感染症拡大のため、受講予定の学童クラブから参加辞退の申し出があり、開催を中止した。
生涯学習フェスティバル	【日程】令和5年3月11日（土）、12日（日）開催 【会場】水俣市公民館 【参加教室】 展示部門（クラフト手芸、生け花木村教室、生け花廣田教室） 【期間中の参加者、来館者等】延べ199人

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由	
<p>市民教室は12教室を開講し、延べ1,596人の参加があった。 新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は開催を中止し、令和3年度は期間を短縮して開催したが、令和4年度は消毒液や自動検温器の設置、洗面所の自動水栓化などの環境を整備したうえで、マスク着用・換気・密を避けるなどの基本的な感染対策を徹底し、事業の実施に努めた。</p>	
(自己評価)	
<p>A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの</p> <p>B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの</p> <p>C 早急の見直しが必要なもの</p> <p>D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの</p>	<div style="border: 1px solid black; background-color: #e0f2f1; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 自己評価 B </div>

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題					
<p>「市民教室」は令和元年度には21の教室を開講し、参加者数は延べ3,568人で増加の傾向を見せていた。その後新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の中止・短縮開催を行う中、教室数・受講者数ともに減少し、令和4年度は12の教室数となっており、参加者数は延べ1,596人とどまった。今後の実施については、教室数・受講者数の増加を図り、事業の活性化を図っていく必要がある。</p>					
(2) 今後の方向性	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>今後の事業の実施については、新型コロナウイルス感染症の社会動向にも変化が見える中、換気や参加者の密集を避ける、消毒・検温などの基本的な感染対策は続ける一方、現在行っている公民館各室利用者数の制限の緩和を行い、教室数・受講者数の増加を目指し、事業の活性化を図っていく。</p>					

6 【点検評価委員の意見】 (外部評価)

点検評価委員	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>高齢化が進む世の中で、高齢者もいきいきと暮らしてほしい。市民教室は、第2の人生において、やることが見つからない人の元気のきっかけになるかもしれない。そういう意味で講座の種類を増やしてほしい。また、長年内容が変わらないため、新規講座の開講も検討してほしい。 生涯学習フェスティバルはステージ発表などがあり、意欲や生きがいにつながって良いと思う。</p>					

7 【総評】 (教育委員会の最終評価)

<p>市民教室については、新規講座の開講を行ってほしい。特に男性が参加しやすいように創意工夫をしてほしい。楽器を演奏する教室があってもいいのではないかな。 いきいき教室や子ども教室は、毎年内容が工夫されていてとてもよいと思う。今後も工夫しながら継続してほしい。</p>

令和4年度 教育委員会重要政策事業実施状況評価表 (教育課 生涯学習室)

政策事業名	7 文化会館自主文化事業
種別	① 水俣市総合計画に掲載された事業 2 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	文化会館における公演の実施 芸術劇場…児童生徒対象。小学生向けと中学生向けを隔年で開催する。 一般公演…様々な舞台芸術の中から、ジャンルに偏りがないように選定、1～2本の上演を行う。
事業の目的・目標	生の優れた舞台芸術等を鑑賞する機会を低料金で提供し、市民の教養を高め、文化の向上を図る。 また、単なる一方的な鑑賞にとどまらず、プロに学んだりジョイントコンサートを行ったりするなど、住民参加型の催しにも積極的に取り組んでいく。

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		2,155	4,902	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	1,467	3,432	文化会館 入場料
	一般財源	688	1,470	

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績 (回数等)
小学校芸術劇場 「ノートルダム物語」	【日時】 令和4年6月28日(火) ・午前の部 10:15～11:30 ・午後の部 13:30～15:15 【会場】 水俣市文化会館 【鑑賞児童数】 1,045人 【一部負担金】 400円/人
一般公演 劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」	【日時】 令和5年2月23日(木・祝) 16:00開演 【会場】 水俣市文化会館 【入場料】 S席: 4,000円(当日券4,500円) A席: 3,500円(当日券4,000円) 【販売率】 93.6%(820枚/876枚) 【入場率】 99.1%(来場者数: 813人/販売数: 820枚)

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由			
<p>【小学校芸術劇場】 コロナ禍で初の実施となり、感染対策に取り組みながら開催した。例年は12月頃に実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっても年度内で対応できるよう、6月に実施した。 当日は、熱中症対策のため急遽送迎バスを増やす等の対応が求められたが、全体としては概ね順調に進行した。 来場した児童からは舞台鑑賞を楽しんでいる様子が見られ、芸術文化に親しむ機会を提供できたと考え。</p> <p>【一般公演】 本市では数年ぶりとなる劇団四季のミュージカル公演であったが、チケット販売率93.6%、入場率99.1%と良好な数値を記録した。この数値は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が軽減されたことに加え、出演者や演目の持つ高い訴求力によるものと考え。</p>			
(自己評価)			
<p>A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの</p> <p>B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの</p> <p>C 早急の見直しが必要なもの</p> <p>D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの</p>	<table border="1"> <tr> <td>自己評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	自己評価	B
自己評価			
B			

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題					
<p>【学校芸術劇場】 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため6月に実施したが、学校側からは「学校から会場間の移動中に熱中症リスクがある」との指摘もあり、今後は例年通り12月に実施することが望ましい。</p> <p>【一般公演】 限られた予算の範囲内で上質で集客力のある演目を選定する必要があり、苦慮している。</p>					
(2) 今後の方向性	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>学校芸術劇場と一般公演のどちらも演目内容の選定が重要となる。特に一般公演の来場者数は、演目内容や演者の知名度等により大きく上下する。限られた予算で優れた芸術文化に親しむ機会を市民へ提供するため、宝くじ文化公演等の助成事業の活用（申請）を積極的に行っていく必要がある。</p>					

6 【点検評価委員の意見】 (外部評価)

点検評価委員	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>演目の選定は責任の重い業務だが、みんなが元気になるものを選んでほしい。令和4年の劇団四季のミュージカルのように世代を超えて鑑賞できるようなものがあると思う。 以前から事業内容が変わらないと思う。小中学校の芸術劇場も、内容に幅があってもよいと思った。 若者の文化面への関心は高いと思われるため、若者の発表の場も検討してほしい。</p>					

7 【総評】 (教育委員会の最終評価)

<p>芸術劇場の開催日について、コロナの状況に備え早目の期日を設定し、延期も可能とした点はよかったと思う。 採算面での難しさがあるので、近隣のアマチュアの活動にも目を向けると、低予算での実施が可能になるのではないかと。 限られた予算の中で事業を継続していくために、今後も補助事業を活用するなどして市民を楽しませてほしい。</p>
--

令和4年度 教育委員会重要政策事業実施状況評価表（教育課 生涯学習室図書館）

政策事業名	8 図書館創作活動事業
種別	① 水俣市総合計画に掲載された事業 2 教育委員会が点検及び評価を必要と認める事業

1 【事業の概要、目的・目標】

事業の概要	<p>1 創作童話ワークショップの開催 小中学生・高校生・一般を対象に創作童話作りを学ぶ講座を実施する。</p> <p>2 みなまた創作童話大賞の開催 小中学生・高校生・一般を対象に、創作した童話等の作品を募集し、優秀な作品に対して表彰を行う。</p>
事業の目的・目標	<p>本事業の推進により、市民の豊かな表現・思考・他者とのコミュニケーション能力を育む機会の提供を行い、読書・創作活動の向上を図る。</p>

2 【投入経費】

(千円)

年 度		令和3年度	令和4年度	備考
事業費		0	126	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他		126	読書のまちづくり基金繰入金
	一般財源			

3 【事業の具体的な取組と実績】

具体的な取組	実績（回数等）
創作童話ワークショップ	<p>【開催日】 7月29日（金）、8月5日（金）、10月22日（土）、 1月28日（土）</p> <p>【会場】熊本県環境センター</p> <p>【講師】本木 洋子（作家）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催とした（参加者：計32名）。</p>
みなまた創作童話大賞	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。</p>

4 【事業の成果】

事業の達成度と、その理由	
<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、創作童話ワークショップはオンライン開催とした。 また、会場内の感染症対策及びオンラインという前例のない方法での実施という観点から参加者数を大幅に縮小するとともに参加者は過去に同ワークショップの経験がある者に限定した。 みなまた創作童話大賞については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。</p>	
(自己評価)	
<p>A かなりの成果を上げ、今後も維持できるよう努めるもの B 一応の成果は上げているが、更なる向上を目指すもの C 早急の見直しが必要なもの D 当初の目的を達しないなど、事業そのものが困難なもの</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 自己評価 C </div>

5 【事業の課題、今後の方向性】

(1) 課題					
<p>新型コロナウイルス感染症対策のため事業の縮小、中止を余儀なくされたが、感染状況などを注視しながら事業の本格的な再開の目途を検討することが今後の課題である。</p>					
(2) 今後の方向性	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>令和元年度を最後に開催した創作童話ワークショップ（オンライン除く）のように、現地（市内小学校他）で創作活動及びワークショップができるよう、感染症対策などについて講師及び実施会場担当者との打合せを行い、実施を検討する。併せて、創作童話大賞の実施についても審査員と会場の選定などについて検討する。</p>					

6 【点検評価委員の意見】（外部評価）

点検評価委員	維持	改善	見直し	休止	終了
<p>「創作」というところに難しさを感じるが、とてもおもしろい取組みだと思う。子供達ももっと本を読むように、「場づくり」を工夫することで、図書館が市民の憩いの場、心を豊かにする場、落ち着く場になるといいと思う。 継続することの大切さはわかるが、単なる創作では特徴がない。新しい事業を考案する等大きな見直しを希望する。 図書館の利活用が高まる工夫が必要だと思う。そうすることで創作活動にもつながると思う。</p>					

7 【総評】（教育委員会の最終評価）

<p>他の地域にはない事業で貴重な取組だが、市民への広がりがないように見えるので、参加者を増やす工夫が必要だと感じる。 民間の熱意のある方の意見を取り入れながら進める方法もあるのではないかと。 今後も、図書や図書館に興味関心をもつための啓発や事業展開を行ってほしい。 また、図書館に気軽に立ち寄れるようにするための工夫が必要である。</p>
